

西地区児童館放課後子ども教室だより

No. 3

令和8年3月31日

【合言葉 きまりを守り 元気にあいさつ】

寒さの中にも、少しずつ春の気配が感じられるようになりました。この一年、児童館で過ごした日々の中で、子ども達は心も体も大きく成長してきました。3月は別れと新しいスタートの準備の月でもあります。子ども達の気持ちが大きく成長する時期です。

児童館では、一人ひとりの「できた!」「がんばった!」という気持ちを大切にしながら、楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。

◆遊びクラブを開催しました

【1月】

○1/14 1学年 講師：SC軽井沢クラブ 小林訓起先生
7回目の「遊びクラブ」を実施し、9名の子ども達が参加しました。
今回のテーマは、「足を使った運動遊び」を行いました。

準備運動の後、床に貼ってあるテープの上を歩いたり飛んだりする遊びでは、周囲を見て動いたり、時にはじゃんけんしたり、友達同士で工夫したりする姿が見られました。マーカーを宝石に見立てた遊びや、子ども達が提案した鬼ごっこなど、休憩を挟みながら楽しく体を動かしました。

最後は、「かけっこ三目並べ」に挑戦し、体だけでなく考える力も使って取り組む様子が印象的でした。

【2月】

○2/17 1学年 講師：SC軽井沢クラブ 小林訓起先生
8回目の「遊びクラブ」は、児童館遊戯室にて実施しました。
遊戯室はやや手狭ではありましたが、当日は17名の児童が元気に参加しました。



はじめに、「バランス」をテーマに足を使ったさまざまな運動遊びに取り組みました。

準備体操を行い、遊戯室の床に貼られたテープに沿って一列に並び、片足バランスや足ふみバランス、ジャンプなどの動きを行いました。続いて小林先生と足を使ったジャンケンを行い、楽しみながらバランス感覚を養いました。

次に以前にも行ったマーカー遊びに挑戦しました。小林先生が並べたマーカーの色に応じて体を動かすもので、「赤色は(右足で)」「青色(左足で)」「緑色(両足で)」「黄色(しゃがむ)」「ピンク色(拍手)」「オレンジ色(後ろ向き)」といった決まりを覚え、マーカーの並び順に合わせて体を動かしました。児童は集中しながら、色と動きを一生懸命思い出して取り組んでいました。

その後は、遊戯室の端のラインからスタートし、小林先生が指示した色のマーカーにタッチしに行くゲームを行いました。3回目は片付けも兼ねて散らばったマーカーを拾って戻る活動とし、最後まで意欲的に参加する姿が見られました。

最後は、カーリングに似たゲームを行いました。遊戯室の端に2つのマーカーを置き、松組・竹組2チームに分かれて、どれだけ近くにマーカーを投げられるかを競いました。応援の声も上がり、盛り上がりのある締めくくりとなりました。

今年度の遊びクラブはこれで最後です。一年間通してたくさん体を動かして遊べました。ルールをお互いに守り、楽しく遊び成長していく姿を見ることができました。

◆体験教室を開催しました

[1月]

○まゆ玉づくり 1/7 全学年 講師：西地区児童館厚生員

36名の来館児童全員が参加しました。

はじめにまゆ玉の原料や飾りつけ、まゆ玉の由来について児童館厚生員より話を聞きました。

児童館厚生員が米粉をお湯でこね、食紅で色を付け、まゆ玉のタネの作り方を実演しました。その後予め作っておいた三色のまゆ玉を子ども達に配り、思い思いのまゆ玉を作ってもらいました。

一つは柳の枝に付け、残りのまゆ玉はおいしく食べました。

体験後は「楽しかった。」「出来立てはすごく熱くてびっくりした。」などといった感想が聞かれました。

○豆まき 1/28 全学年 講師：西地区児童館厚生員

94名の来館児童全員が参加しました。

来館順に新聞紙で作った鬼の帽子に思い思いに色づけを行いました。その後、児童館厚生員より「豆まきの由来」について話を聞きました。その後、鬼に向かって豆の代わりにボールを投げて鬼払いをしました。

帰る際に、お土産を持って帰りました。

[2月]

○手話教室 2/18 高学年 講師：6名

4～6年生を対象とした「体験教室」を実施し、8名の希望児童が参加しました。

ろう者を知ろうマルバツクイズや、知っていますかこんなこと、困っていたらどうやって声をかけますか、などの参加型の内容で、意欲的に学ぼうとしていました。最後にみんなで「鬼のパンツ」を手話で表現しながら楽しんで歌いました。



学校の探求学習で手話を調べているグループの児童が参加しており、手話教室が始まる前から手話を使って講師の先生方と話している姿が見られ、たいへん感銘を受けました。

沢山の手話を覚えてコミュニケーション方法を知ろうとする意欲的な姿が見られました。

○手話教室 2/25 低学年 講師：5名

1～3年生を対象とした「体験教室」を実施し、21名の希望児童が参加しました。

はじめに、講師の先生の自己紹介の後、手話であいさつや拍手の表現を教わりました。子ども達は初めて見る表現に興味津々で、楽しみながら取り組んでいました。

次にクイズや「町で耳の不自由な方に出会った時の助け方」について学びました。手話がわからなくてもジェスチャーや表現などを通して「助けて」という気持ちは十分に伝えられることを教えていただきました。



その後小グループに分かれ、自分の名前を手話で教わりました。照れながらも、子ども達同士で手話を使って自己紹介をし合う姿が見られ温かい雰囲気の間となりました。

最後は、「おにのパンツ」を手話で歌いました。歌に合わせて体を動かしながら、楽しそうに表現する様子が印象的でした。

○手話教室を体験して

手話体験を通して、手話の大切さや、言葉がわからなくても工夫次第で気持ちを伝えあえることを学ぶ貴重な機会となりました。今後も相手を思いやる心を大切にしながら、様々なコミュニケーションの方法に触れていきたいと思えます。

【3月】

○ミニコンサート 3/4 全学年 講師：川畑彩香先生 他2名

全学年を対象にしたミニコンサートを実施し、希望児童43名が参加しました。

ミニコンサートは盛り上げ役のピエロのお兄さんがピアノの音色に合わせて、歌やリズム遊び、手品など子ども達を飽きさせないよう盛り上げてくれて、楽しい音楽会でした。2年生のミスターケッケも特別出演し、最後は尺八の音色と共にみんなでポニョを歌って楽しみました。



◎西地区児童館みらい子育てクラブの皆様、一年間ご協力いただきありがとうございました。

子ども達のために「夏祭り」のイベントを企画いただきました。また、児童館の年末大掃除もご協力いただきました。

横山会長様はじめ、役員の皆様に感謝申し上げます。

令和8年度 放課後子ども教室の利用について（お願い）

4月から放課後子ども教室の利用を希望される方は毎年登録が必要です。

「放課後子ども教室推進事業登録簿」をご記入の上、西地区児童館までご提出ください。

また、児童館を利用される場合は、利用する児童館ごとに「安全管理簿」をご提出下さい。